（様式⑦　小学校・中学校）

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ　学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像
自分で目標を作れる子，豊かな人間関係を作れる子の育成

堺市立美木多小学校
校長　井上　敬子

令和8年度　重点目標
自分の考えを持ち，表現できる子の育成　「伝え合い，認め合って，自分らしく輝ける子」を育てる

「確かな学び」の現状
昨年度実施した全国学力・学習状況調査やすくすくウォッチの状況から，各教科の学力面において全国や大阪府の状況に比べると低い状況にある。また，全体的に基礎学力の定着について課題がみられ，無解答率の改善も引き続き必要である。今年度も基礎学力の向上と合わせて，変動が激しく予測不可能な時代を生き抜くための力として，自分の考えを持ち筋道を立てて考え，解決の過程を自分なりに表現できる児童の育成に力を入れる。そこで令和8年度の研修テーマを『子どもの思考のプロセス（過程）を大切にした学習をめざして』～子どもの問題解決をめざした授業づくり～とし，昨年度までの研修で積み上げてきた「学びのコンパス」を土台に授業改善・実践等を通して児童の学びの向上をめざす。

「豊かな心・健やかな体」の現状
・昨年度の学校教育アンケートにおいて，「自己肯定・自己成長力」にかかわる項目や「学校に通うのは楽しいか」の肯定的回答の割合が継続して高く，子どもたちの学校生活が充実していることの表れであると考えられる。この状態を維持向上できるように，今後も学校での教育活動全般を通して，成功体験や達成した喜びを積み上げていくきめ細かな取組を継続発展させていきたい。
・様々な動きを音楽に合わせて行う準備運動やリズムなわとびを通して，児童の意欲を高めながら体力向上のための取組を継続させていきたい。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組（●重点とする取組　★中学校区での取組）	判断基準（評価のものさし）	評価方法	評価時期	進捗確認（～10月）		達成状況(年度末) 自己評価		達成状況(年度末) 学校関係者評価	
確かな学び	学びに向かう力の育成	○主体的に学ぶ子どもを育成する	問題意識を醸成することで意欲を高め，解決する過程（プロセス）を表現する場面を充実させる。	児童のノート・発言	研修委員会での検証	1月	○	単元の構成や教師の発問を工夫することで，児童に問題意識を持たせると同時に，その考えをノートやICTで表現する場面を充実できるよう取り組んでいる。また，美木多っ子学習にも，友だちの自主学習を参考にしながら，継続して取り組んでいる。				
			家庭学習の充実を図る。美木多っ子学習の「ノート展覧会」を全学年で実施する。	全学年で実施し，児童アンケートで肯定的評価80%以上	児童アンケート	1月	○					
	授業改善	○個別最適な学びと協働的な学びを進める	●★児童の学びを深めるための授業づくり（学びのコンパスに沿った授業改善の工夫）を行うために，全学年で研究授業を行う。	全学年が年1回の研究授業を実施し，全職員が授業検討会に参加する	教職員アンケート	1月	○	今年度の研修テーマである「思考のプロセスを大切にした問題解決的な学習」という研修テーマに基づいた授業を3学年から提案した。また，週に一回以上タブレットを活用した学習に取り組んでいる。基本的には毎日持ち帰り，家庭学習でも活用している。				
			日常的に授業でパソコンを活用し，個別最適な学びと協働的な学びを進める。	3年生以上の学年で積極的に活用し，児童アンケートの肯定的評価80%以上	児童アンケート	1月	○					
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	○学校全体で人権教育を推進し，あらゆる場面で考えを伝え合い，認め合い，支え合える集団作りを進める	学校全体でPBSの考え方を基本とした生徒指導を行い，自尊感情を高め，友だちと豊かな心で関わり合える集団作りを行う。	学校教育アンケートで80%以上肯定的評価がある	学校教育アンケート	1月	○	会議で都度PBSの考え方についての共通理解を図り，学校全体で統一した指導ができるように取り組んでいる。生活アンケートや面談，心の学校健診を定期的に実施し，いじめの早期発見，解決に取り組んでいる。				
			いじめの未然防止に向けた取組を推進するとともにいじめの早期発見に努め，いじめ事象には組織的な対応で早期の解決，再発防止を図る。	「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と答える割合90%以上	学校教育アンケート	1月	○					
	健やかな体の育成	○仲間と一緒に体を動かすことの楽しさを感じられるようにする ○安全管理・危機管理体制の確立 （食育や健康教育などの充実と推進）	音楽を使った準備運動・リズムなわとび等，本校独自の取り組みの充実を図る。休み時間に体育館を開放し，運動を促進する。	全学級で実施することができている	保健安全部会での検証	1月	○	休み時間の体育館開放を行い，運動の促進をした。全学年食育の授業に取り組んだ。食育通信や保健だよりも毎月発行し，家庭との連携を図っている。				
			家庭との連携を図った食育指導や健康指導の充実を図る。	食育の授業を全学級で実施 「食育通信」「保健だより」を毎月発行する	実践報告	随時	○					
地域協働	家庭地域との連携	○学校・家庭・地域の協働による教育の推進	保護者・地域に開かれた学校づくりのため，参観・懇談等の機会を適切に設ける。	学校教育アンケートで肯定評価80%以上	学校教育アンケート	1月	○	1学期に日曜参観，緊急引き渡し訓練，体育参観，希望制個人懇談会と1学期個人懇談会を実施。2学期も土曜参観，個人懇談会，地域清掃，給食試食会を実施予定。2年商店見学，5年ミシン学習のお手伝いを保護者に募集し連携。PTAと月一回の会議を行い情報共有および協働に努めている。				
			伝統ある本校区における各種地域団体との情報共有および協働につとめ，信頼関係の構築に努める。	地域の方から学校への信頼を意味する言葉や評価をいただく	学校協議会等会議，地域行事時	随時	○					

校長より(年度末)

学校関係者評価者から(年度末)